



一般財団法人
福島医大トランスレーショナルリサーチ機構

F. T. Report

Vol. 4

理事長ご挨拶

令和5年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様をはじめ、日ごろから福島TR財団の活動にご賛同いただいているすべての方々に心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年11月に開催された福島事業報告会等でご報告しましたように、当財団では、令和6年度からの公益財団法人化を目指すこととなりました。これに伴い、「**未来のパンデミックに備える※**」という新たなビジョンを設定し、今後は事業の改廃を行い、公益性の高い事業を中心として展開することになりました。

また、公益法人化に伴いまして、組織体制も刷新いたしました。これまでの部体制を刷新し、部の上位に部門を設置しました。

部門は、総務・技術移転部門、研究開発部門の2部門に編成し、総務・技術移転部門には、これまでの総務部に加えて、技術移転部を新設しました。

特に技術移転部門は、福島県立医科大学等の知的財産の企業等への橋渡しを行い、承認TLO(国の許可)取得を目指します。

一方、研究開発部門には、既存業務を行う研究開発第一部の他に、第二部・第三部を新たに創設しました。これにより、第二部では動物実験を、第三部ではゲノム研究を進めて参ります。

※ビジョンへ向けた活動

- 1) **未来のパンデミックに備えるために、病原体に対する抗体遺伝子の網羅的取得およびそれらの備蓄**
- 2) **福島医薬品関連産業支援拠点化事業(福島復興事業)の研究成果・知財・技術の移転・活用・普及活動**
- 3) **国民の健康増進および日本の科学技術の進歩のための研究・教育活動**

このように、福島TR財団はこれから新たに生まれ変わります。

本業務を通して、会員の皆様の研究開発支援や、新たな医薬品関連産業の創出・集積を目指し、福島復興に貢献して参ります。

今後も一丸となり、さらなる飛躍ができるよう精進して参りますので、変わらぬご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事長 家村 俊一郎

公益法人化へ向けた新体制

令和5年の新年を迎え、財団は設立から3年が経ちました。

この間、皆様のご支援をいただき、財団運営の安定化に努めて参りました。

冒頭の理事長ご挨拶の通り、財団では、今後、この安定化の流れを加速させるため、財団の公益法人化を目指して参ります。

具体的に、公益化へ向けた体制の整備として、昨年の役員会にて財団組織・事業再編のため定款を改正いたしました。

また、公益化の一環として、技術移転部(TLO)の創設も行い、併せて「承認TLO」認可の申請も行っております。

公益財団化は、令和6年4月からを目指しているため、この一年は財団としても正念場の年となります。

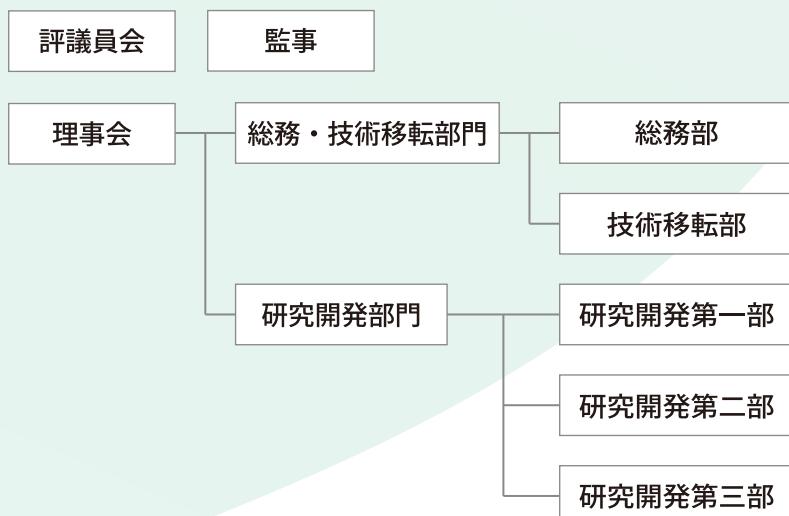
今後とも皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

組織・部署

公益法人化を目指すという新たな目標のため、組織・事業の大幅な改廃を行いました。下記の新体制のもと、「公益的な事業」を中心として、事業を展開いたして参ります。今後とも、皆様には変わらぬ財団のご活用、ご協力をお願いいたします。

	人数(役員兼務)
評議員	3
監事	1
理事	5
総務・技術移転部門	7(2)
研究開発部門	17(2)
計	29

令和5年4月



技術移転部の創設とご活用のお願い

ご存じの通り、当財団はこれまで、福島県立医科大学医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター(TRセンター)が行っている「福島事業」※の研究成果を実用化するための活動を行って参りました。

しかしながら現状では、福島事業の研究成果(特許等の知的財産権を含む)のライセンスや研究成果物の移転は、TRセンターから直接に行われるケースもあり、窓口が複数存在するために、今後、利用者様に混乱を生じるおそれがあります。

そこで、当財団の公益化など、将来の福島事業成果活用窓口を当財団に一本化するとともに、福島県立医科大学との連携をより強固にするため、昨年12月に財団内に技術移転部を創設いたしました。

当技術移転部は、豊富な専門知識と経験を有するスタッフを配置した新たな体制のもと、これまで行ってきた福島事業の成果の実用化(技術移転)だけでなく、それらの成果の権利化・管理・維持まで業務内容を拡大いたします。

さらに、当技術移転部は、福島事業の研究成果(F-PDX®, F-PDO®, cDNA, RNA、遺伝子発現解析データ、新型コロナウイルスや病原微生物等に対する有用抗体、抗体プロファイリング、遺伝子マーカー等)だけでなく、段階的に福島県立医科大学全体および福島県内の大学の研究成果の権利化・管理・維持に係る役割まで業務を拡大することを目指します。これにより、技術移転部は、福島事業のみならず福島県内の大学等の研究成果を産業界に還元することを通し、他部門と一体となって福島の復興、ひいては社会全体に貢献できるよう努力して参ります。

※「福島医薬品関連産業支援拠点化事業」は経済産業省の福島復興事業の1つです。



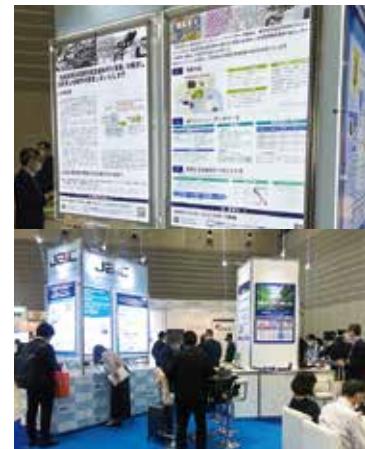
財団トピックス

■ バイオジャパン出展のご報告

昨年10月12日～14日までの3日間、パシフィコ横浜(みなとみらい)でバイオジャパンが開催され、当財団も出展いたしました。

財団は設立以来、当展示会には出展していますが、コロナ下であったため会場に入場制限がなくなってからは初めての出展でした。出展内容は旧体制(組織、事業)最後のものでしたが、多くの皆様にお立ち寄りいただきました。

公益化へ向けた新体制PRの場は、本年4月19日(水)～21日(金)に東京ビッグサイトにて開催・出展予定の「CPHI Japan 2023(国際医薬品開発展)」で行う予定です。是非、ご来場ください。



■ 令和4年度事業進捗報告会

昨年11月18日、令和4年度事業進捗報告会を日本科学未来館(青海)で開催いたしました。令和3年度は福島での開催であったため、2年ぶりに東京での開催となり、多数の会員の皆様や福島プロジェクト関連企業の皆様にご参加いただきました。

報告会では、プロジェクトリーダーの福島県立医科大学 渡邊教授より1年間の福島事業の研究成果についておよび今後、期待される成果の活用や事業計画について語られました。

また、当財団の新ビジョン「未来のパンデミックに備える」を財団公益化のための事業遂行の大きな目標とすること、財団で創設された寄附制度についてのご紹介、および公益化に向けた新体制のご案内などもお話をいただきました。報告会後には、早速ご出席者の皆様からご寄附をいただいております。

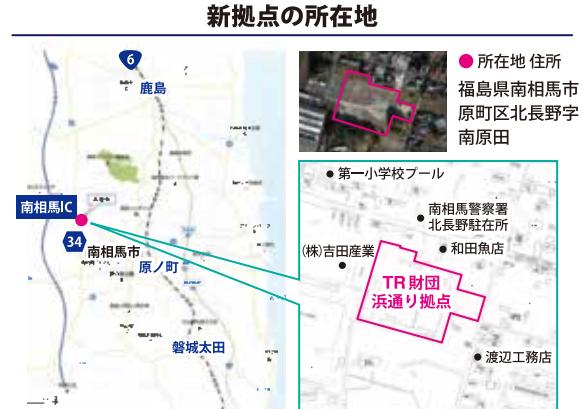
紙面を借りまして、厚く御礼を申し上げます。



■ 南相馬の新拠点について

福島復興再生計画(令和3年4月9日内閣総理大臣認定)において、「今後、県、同センター(※TRセンターを指す)、医薬品関連企業、浜通り企業等と連携しながら将来の医薬品関連産業の集積に資する取組を検討する」と位置付けられたため、当財団では今後、南相馬市において研究事業を進めるべく、地元市役所などと協議を進めて参りました。

本年からは、ご賛同企業様のお力添えをいただきまして、南相馬市新拠点での研究事業がスタートする予定です。



会員制度の変更に関するご案内

これまで皆様にご活用いただきました財団会員制度につきましては、令和5年4月より会員区分等について、下記の通り変更となりますのでご案内いたします。

一般会員の区分については、大企業区分、中小企業区分の2区分のみとし、提供データについても、より多くの皆様にご活用いただけるよう見直しさせていただきました。

また、会員様には従来の特典に加え、今後は技術移転に関する特典も新たに追加の予定です。多くの皆様にご入会いただき、ご活用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

会員種別	年会費	細胞検索システム 抗体評価データベース	福島コレクション®に 関する資料
一般会員A (大企業区分)	30万円	○	○
一般会員B (中小企業区分)	10万円	○	○
法人賛助会員	5万円	—	○
個人賛助会員	1万円	—	○



ご寄附のお願い

一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構(福島TR財団)は、当財団の活動にご賛同いただける個人様、企業様からのご寄附を広く募っております。「安全な社会づくりを支援したい」「医療の発展に貢献したい」「一人一人が健康でいたい」などの皆様のお気持ちが福島TR財団の活動をより広く確かなものにしていきます。

皆様からのご寄附は、下記の社会還元を目的とした事業のために大切に活用させていただきます。

- ・抗体遺伝子の網羅的取得および備蓄のための研究費用
- ・研究成果や知的財産を社会へ還元するための活動費用
- ・一般向け研究会、講演会および若手研究者向け研修会、勉強会、情報交換会等開催費用

ご寄附は下記の方法にて受け付けております。

● 銀行振込 <1,000円から受け付けてあります>

(銀行名) 三井住友銀行 日本橋支店
(口座番号) 普通 8509926
(口座名義) イバ^ンサ^インホウ^ンフクシマイダ^イトランスレーショナルリサーチコウ

※お手数ですが、お振込の際は下記メールアドレス宛またはFAXにて【氏名・住所・電話番号・振込予定日・寄附金額・口座名義(氏名と異なる場合)】をご連絡いただけますと幸いです。

※誠に恐れ入りますが、振込手数料は寄附者様にご負担願います。

E-mail: tr_kifu@ftrf.jp FAX: 024-573-6083

● オンライン寄附 <クレジットカード>

寄附サイト(シンカブル)よりご寄附をお願いいたします。
<https://syncable.biz/associate/ftrf>



ご寄附を
いただいた方に
差上げます*



IgA抗体マスク



福島の特産品

※写真はイメージです。実物とは異なる場合がございますので
ご了承ください。1万円以上ご寄附をいただいた方に差上げます。

財団情報 Information

■ 一般財団法人 福島医大トランスレーショナルリサーチ機構 本部

住 所: 〒960-8031
福島県福島市栄町1番35号 福島キャピタルフロント7-4
TEL/FAX: 024-573-6083
Eメール: fukushima.tr@ftrf.jp ホームページ: <https://ftrf.jp/>



■ 研究室

(研究開発第一部 福島医大オフィス)
住 所: 〒960-1247
福島県福島市光が丘1番地 災害医学・医療産業棟2階 210号室
TEL: 024-572-7125

(研究開発第二部、研究開発第三部 福島医大オフィス)※令和5年4月開設

■ 日本橋オフィス

(研究開発第一部 東京オフィス)
住 所: 〒103-0023
東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング5階 506号
TEL: 03-6225-2971

■ 技術移転部

住 所: 〒163-0411
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング11階C-045
TEL: 03-6837-4076

お問合せ Contact

■ 財団に関するお問合せ

Eメール: fukushima.tr@ftrf.jp お問合せフォーム:https://ftrf.jp/contact_2/



■ 技術移転に関するお問合せ

Eメール: tlo@ftrf.jp